

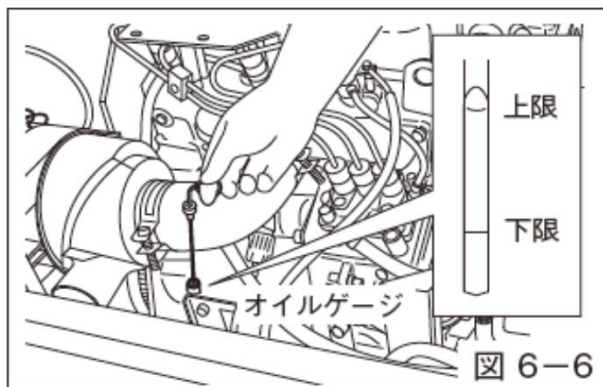


図 6-6

1. エンジンオイルの点検

エンジンのオイルゲージを抜き取って、一度ウエスで拭き再びいっぱいに差し込んで静かに抜きます。

ゲージに付着したエンジンオイルの位置が、ゲージの上限と下限の間にあるか点検してください。

下限より少ない時は、補充してください。また、同時にオイルの汚れも点検してください。

2. エンジンオイルの交換

エンジンオイルの汚れは、作業効率の低下を招くばかりでなく、エンジンの寿命を著しく低下させます。

第1回目のオイル交換は、運転時間が50時間経過後に、以降は運転100時間毎に交換してください。

また、除雪シーズンが終了した時にも必ず新しいオイルと交換してください。

※オイルは規定量を超えて入れすぎないでください。

【交換手順】

1. エンジンを暖機運転してください。

2. 注油口キャップを外します。

3. エンジン停止後3分以上経ってから、排油栓を外しオイルを抜きます。

4. 排油栓をスパナで固く締付けます。

5. 新しいエンジンオイル(3L)を注入してください。

6. エンジンを始動して30秒間アイドリング運転後停止し、30秒後オイル量を再点検し、レベルゲージの上限の位置にあるか確認し、不足していれば補充してください。

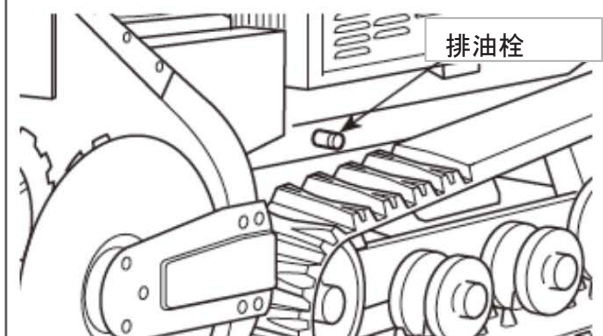
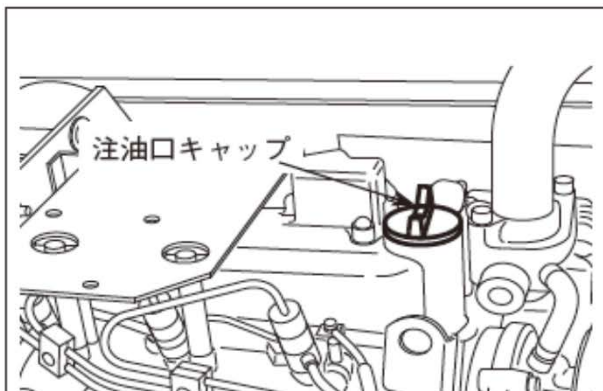
※エンジンのオイル量は、オイルフィルタ交換時3.3L、オイルフィルタ交換なしで3Lですが、ゲージで確認しながら上限を超えないようにしてください。

●推奨オイル

エンジンオイルはスノースロワーの機能を十分に発揮させるため、必ず下記のオイルをご利用ください。

● API サービス等級: CF, CE, CD のクラス

● 厳寒期に適したオイル オイルの粘度番号 SAE5W-20, 5W-30, 10W-30 のいずれでも結構ですが、低温時でも粘度がやわらかなオイルとして5W-20、もしくは5W-30をおすすめします。



注意：
スキマをあける



図 6-7

初期交換時期	2回目以降	オイル種類	オイル規格	容量
50時間後	100時間及び シーズン前	エンジンオイル CF,CE,CDクラス	5W-30又は 10W-30	3.0L 3.3L

* オイルフィルタ交換時